

ふくろう相談室（としま子どもの権利相談室）の運営状況について

1. 相談実績（令和5年9月6日～令和7年12月31日時点）

- 相談件数：114件(終結案件103件、継続案件11件)
- 他機関から「ふくろう相談室」に繋がった案件：44件

(1) 性別

男性	女性	その他	未回答
61	51	0	2

(2) 相談内容（複数に該当する場合は双方にカウント）

家庭問題	いじめ	虐待	行政対応	学校対応	友人関係	不登校	学習面	性被害	性の悩み	その他
37	12	11	7	33	28	5	4	2	1	16

(3) 初回の相談者（複数に該当する場合は双方にカウント）

本人	両親	母	父	他の機関	その他
49	2	26	8	44	4

(4) 初回の相談方法

電話	メール	対面	手紙	FAX
53	18	43	0	0

(5) 子どもの所属

未就学児	小学校			中学校			高校等			その他
	低学年	中学年	高学年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	
6	17	23	20	5	8	7	11	7	7	3

(6) 終結パターン（103件）

助言・支援	他機関へつなぐ	是正要請	特定不能
83	20	0	0

2. 令和 7 年度の体制について

子どもの権利擁護委員	子どもの権利相談員	開室日時
3 名（弁護士・大学教員）	3 名	火曜日～金曜日 10 時 00 分～17 時 45 分

3. 現在のアウトリーチ状況について

中高生センタージャンプ東池袋・長崎：それぞれ月 1 回

子どもスキップ：令和 7 年 6 月より、月 1～2 回のアウトリーチを実施

4. 普及・啓発の取り組みについて

（1）「ふくろう相談室」広報用カードの作成（令和 6・7 年度に区立小・中学生へ配付）

※相談室の愛称とキャラクターが決定したことによりデザインを変更



カードのイメージ（二つ折り）

（2）「としま子どもの権利相談室」の愛称募集

「としま子どもの権利相談室」を身近に感じ、親しみをもってもらえるよう、令和 6 年度に区立小・中学生から愛称を募集し、投票により“ふくろう相談室”に決定した。

【愛称決定までの工程】

時期	動き
5 月 15 日～6 月 14 日	愛称の募集（区立小・中学生より 700 件を超える応募あり）
8 月 6 日	としま子ども会議参加者へアンケートを実施。愛称候補を 3 案に絞り込み。
9 月 2 日～9 月 13 日	投票（区立小・中学生より 1,800 件を超える投票あり）
9 月 22 日	愛称が“ふくろう相談室”に決定（活動報告会でお披露目）

【愛称に込められた思い】

豊島区といえばふくろう。ふくろうは“ホーホー”と鳴くから、相談にきた人の話をなんでも“ほうほう”といつでも聞いてくれる相談室になってほしいと思ったから。

(3) 「ふくろう相談室」ふくろうキャラクターの作成 名前：マモろう

ハート型をモチーフにデザインしたふくろうのキャラクター。おなかにある7つのハートは、豊島区子どもの権利条例に掲げる“大切な7つの権利”をイメージしている。



相談室に勤務している子どもの権利相談員さんご協力のもと作成。このキャラクターを今後“ふくろう相談室”の広報・周知に活用していく。

(4) 「ふくろう相談室」活動報告会の開催

「ふくろう相談室」の令和6年度の活動報告会を開催した。子ども若者支援ネットワーク「ここにいるよ」と合同で開催し、子ども・若者の支援に携わる関係者と一緒に、子どもの権利について考える機会となった。

- 開催日時：令和7年11月28日（金）18：00～20：00
- 開催場所：区役所本庁舎1階 としまセンタースクエア
- 参加人数：68名（区民の方々、区議会議員、地域団体、民間団体、他自治体関係者、区職員等）



会場の様子



子どもの権利擁護委員、相談員による活動報告の様子



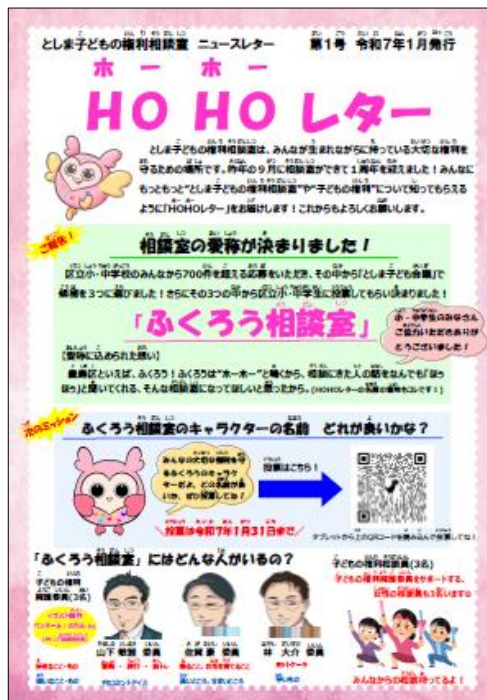
「ここにいるよ」意見交換会の様子



活動報告書

(5)「ふくろう相談室」ニュースレターの作成（令和7年1月に第1号配付）

「ふくろう相談室」を身近に感じ、親しみをもってもらえるようニュースレターを作成。ニュースレターを通じて「子どもの権利」や「ふくろう相談室の活動」等について定期的に発信をしていく。



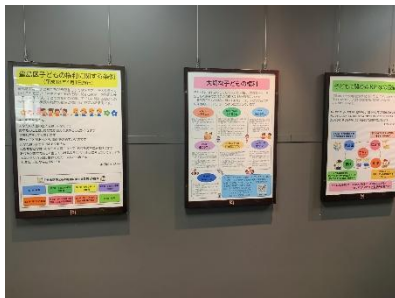
【表面】



【裏面】

(6)「子どもの権利」普及・啓発の取り組み

【区内施設等での取り組み】



本庁舎のパネル展示



中央図書館の特集展示



区内企業のイベントでの出展

【学校や地域での取り組み】



学校における出張講座



地域の方々への講演会



区職員向けの研修

（７）「豊島区子どもの権利に関する条例」動画の作成

平成 18 年に制定された「豊島区子どもの権利に関する条例」に込められた思いをまとめた動画を作成。区ホームページや区施設での放映、区立小・中学生に配布しているタブレット端末への配信等を通じて、すべての子どもが生まれた時から持っている大切な権利について発信していく。

